

C-64 モアレ法による体型把握に関する基礎的研究 — 胸部形態について —  
お茶の水女大家政 柳沢澄子 ○延原広美 猪又美栄子  
香林大医 芦沢玖美

目的 格子投影型モアレトポグラフィ撮影法を用い、胸部形態にひきつづき、胸部形態の三次元的形態把握を目的とし、衣服の設計製作の基礎となる体表面展開図を得ることを試みた。

方法・結果 実験材料として、お茶の水女子大学被服構成学研究室所蔵の石膏トルソー4体（生体から複製したもので、成人男女各2体）を用いた。これらトルソーにはあらかじめ衣服設計の立場から必要な基準線及び図化する際の接合点となる補助基準線を入れ、8方向からモアレ撮影した。その写真上で5mm間隔の平行線を引き、その位置の水平断面図を順次求めた。その結果、人体の形態を視覚的に判別することができた。また、これら断面図を平面図と考えると断面図のピッチから、正面図・側面図が得られるので、これらを第三角法で図学的に展開した。さらに、断面図上でバストポイントを通る正中線に平行な直線を設定し、それを正しい位置関係におくことにより、体表面の展開図を得た。